

“20歳” おめでとう

華やかに成人式

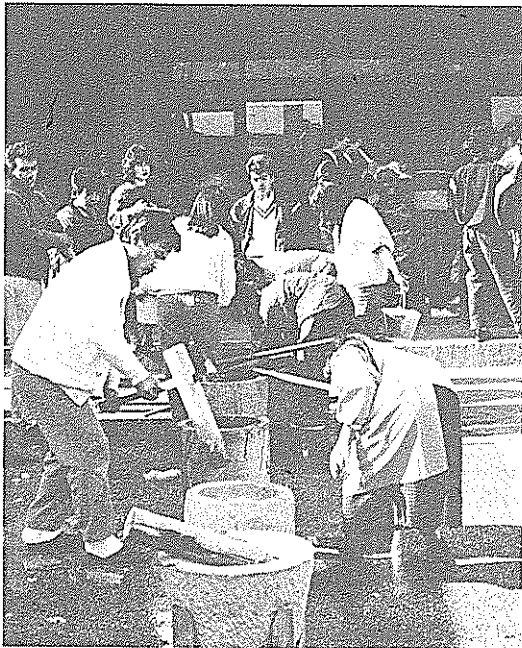
592人が

大人の仲間入り

成人おめでとう。大人の仲間入りを祝う成人式が一月十五日、午後一時から市民体育館で行われました。

市内で今年成人式を迎えたのは五百九十二人（男三百二十五人、女二百六十七人）で、式典へは三百八十人が出席しました。

まず、小笠原市長が「心と体のバランスのとれた人間になってください。自分の生活している場を愛することを願います」と式辞。また、市連合青年団副団長の徳久靖洋さんが「今年も、国際青



青年団によるもちつきが行われ門出を祝った

年です。地域社会を担う青年として、共に頑張りましょう」と激励しました。

このあと、成人を代表して竹村貞夫さん（久礼田）が「常に新たな気持ちを持ち続け、自分自身を錬磨していきます」と、力強くはたちの決意を述べました。

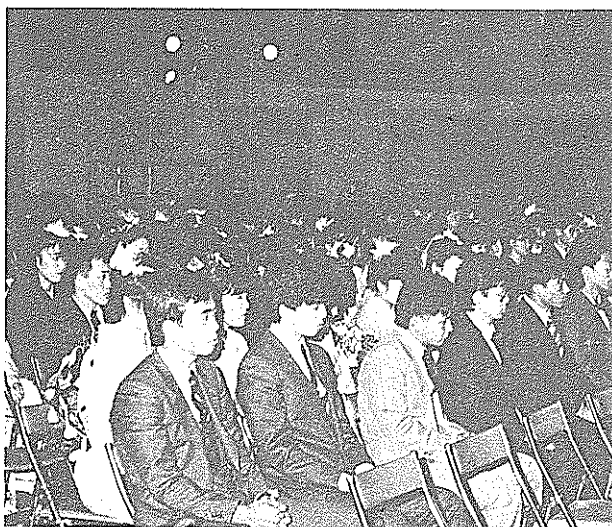
引き続き市教委と市連合青年団が制作したスライド「二十年の出来事」を上映。生まれてからの二十年間を懐かしいヒット曲とナレーションで振り返りました。

新成人ら51人が献血

式典会場前では、県赤十字血液センターの移動採血車が「はたちの献血」を呼び掛け、新成人ら五十一人が記念の献血に協力しました。

教育委員会から

成人式に出席できなかった方で、記念品（アルバム）を希望する方は、教育委員会社会教育課へ二月二十日までに申し出てください。



380人が出席して華やかに繰り広げられた式典

市長らが紅白の祝いもちを手渡した

